

高等学校 令和6年度（1 学年用）教科

国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 第一学習社「精選言語文化」（言文714））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			書	読					
第 一 学 期	A 古文編 1 言語活動 古典から受け継がれる話の由来を調べる 児のそら寝 絵仏師良秀 古文の学習 言語活動 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】積極性	課題に応じて調査する方法を学ぶ。古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。随筆を書く活動を通じて、表現力や想像力を高める。わが国の伝統芸能について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。わが国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。		○	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	B 現代文編 1 砂に埋もれたル・コルビュジエ 羅生門 【知識及び技能】語彙と修辞 【思考力、判断力、表現力等】効果的な表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】興味関心	父との過去の会話を重層的に描いた構成を把握し、一冊の本にまつわる三人の人間の思いを読み取る。下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。		○	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	定期考査1					○	○		1
	C 古文編 2・漢文編 1 伊勢物語 芥川／東下り／筒井筒 枕草子 春は、あけぼの／中納言参りたまひて 漢文入門 戦国策 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。複数の文章を読み比べ、理解したことをまとめる。漢文訓読の基本を理解する。		○	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	D 現代文編 2 I was born 自分の感受性くらい一つのメルヘン 贅のうへ 【知識及び技能】修辞と語彙 【思考力、判断力、表現力等】鑑賞する力 【学びに向かう力、人間性等】継続性	散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。詩独特の表現技法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。		○	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	16
	定期考査2					○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 書 読	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
第二学期	E 古文編3・漢文編2 徒然草 ある人、弓射ることを習ふに／丹波に出雲といふ所あり 土佐日記 門出／亡児／帰京 漢文 歴史説話 十八史略 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	わが国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。	○	【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで自分のものの見方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査3				○	○		1
	F 現代文編3 鏡 夢十夜 【知識及び技能】独特な表現の読解 【思考力、判断力、表現力等】行間を読む 【学びに向かう力、人間性等】想像力	恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。	○	【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	12
	G 古文編4・漢文編3 徒然草 花は盛りに／九月二十日のころ 唐詩の世界 静夜思（李白）／送三元二使安西一（王維）／春望（杜甫） 平家物語 祇園精舎／木曾の最期 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】共感しようとする意識	・我が国の代表的な随筆文学に触れ、作者の思想や無常観、仏教的な背景などと関連付けて、正しく解釈できるようにする。 ・合戦を主題とした文学作品をまとめ、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを一覧表にする。	○	【知識・技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解させる。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	16
	定期考査4				○	○		1
第三学期	H 現代文編4 言語活動 折句を用いて短歌を作るころの帆 その子二十 【知識及び技能】独特な表現の読解 【思考力、判断力、表現力等】行間を読む 【学びに向かう力、人間性等】創造力	折句を用いて、感じたことを短歌で表す方法を学ぶ。わが国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。わが国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。	○	【知識・技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解させる。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	10
	I 古文編5・漢文編4 奥の細道 旅立ち／平泉／立石寺 言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える 新古今和歌集 古今和歌集 万葉集 桃花源記 【知識及び技能】訓読の基本 【思考力、判断力、表現力等】先人の知恵を理解する 【学びに向かう力、人間性等】興味関心	・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉え、表にして書く。和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う方法を学ぶ。わが国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解し、成長期の和歌の特色や和歌の鑑賞のしかたを理解し、発展期の和歌の特色を捉え、わかりやすく図示する。わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。長文の読みに慣れるとともに、中国文学の一ジャンルである唐代伝奇小説の発想のおもしろさを味わう。漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、桃花源の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。	○	【知識・技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査5				○	○		1
	J 漢文編5 論語について調べる 故事成語の由来と意味を調べる 漢詩 【知識及び技能】中国の古代思想 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】積極性	日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。	○	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、漢詩や情報、人物像が伝わる資料を作ろうとしている。	○	○	○	7
			書くこと 読むこと 32 80 近代 30					合計 117